

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470200740	事業の開始年月日	平成18年4月1日
		指定年月日	平成18年4月1日
法人名	医療法人 ゆりの会		
事業所名	グループホーム ゆり苑		
所在地	(〒221 -0802) 横浜市神奈川区六角橋1-4-3		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員 計	9名 ユニット数 ユニット
自己評価作成日	平成31年2月20日	評価結果 市町村受理日	平成31年4月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者様の自立度が高いので、できるだけご本人の意思を尊重し、その人らしい生活をしていただけるよう支援しています。1年に数回は外出レクを行ったり、季節行事、誕生会等には入居者様に楽しんで頂く事が出来るよう力を入れております。食事にも力を入れています。料理上手な職員がたくさんおり、毎日3食、温かくて美味しい食事を提供しています。</p>
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成31年3月13日	評価機関 評価決定日	平成31年4月5日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】

◇利用者の意思の尊重

・食事や入浴など最低限のスケジュール以外は、原則利用者の自由とし、利用者は居間でテレビを見たりレクリエーションに参加し、また、居室で趣味の手芸を楽しむなど思い思いに過ごしている。

・入居前から共同作業所に通っている利用者には、その意思を尊重し、作業所と連携して週1回の通所を支援している。

◇個々の利用者に適した自立支援

・機能の維持を意識して個々の利用者の介助方法を検討し、必要以上の介助とならないように心掛けている。排泄や入浴も原則注意深い見守りと励ましを主体とし、利用者のできないことの介助に止めて自立を支援している。

◇食事への取り組み

・季節や利用者の好みに配慮して、職員が献立を考えて調理し、談笑しながら一緒に食事している。利用者も買い物や配膳、後片付けをともに行うなど、家庭的な食事を提供している。また折々の行事食や外食、屋上での芋煮会には家族にも声をかけ、健康の基でもある食事で、生活に変化を付けている。

【事業所が工夫している点】

◇月ごとに行事を担当する職員を置き、担当職員が季節や利用者の希望に沿って、初詣や誕生会などを企画し実施している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームゆり苑
ユニット名	—

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者の自由の確保・自己決定・自立援助の3つを柱とした基本理念を管理者・職員はいつも意識して日々の関係作りに努めています。商店街の中という良い立地条件を活かし地域の方との繋がりを感じられるよう支援しています。	・理念を玄関に掲示し、職員は理念に沿った支援を実践している。 ・機能維持のため、利用者に過剰な介助とならないよう配慮して、自立を援助し、レクリエーションの参加も利用者の自己決定を尊重している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会の行事に参加したり近隣の幼稚園との交流を行っている。運営推進会議を通じ、町内会の方や民生委員さんと良い情報交換を行うことができます。	・町内会に加入し、利用者が、町内会の盆踊りに参加している。 ・食材は、近隣商店を利用し、利用者も買い物に出かけている。雛祭りや敬老の日に保育園児が訪れ、節分行事では近隣のコンビニの店員が協力するなど地域と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方へ積極的に発信することはあまりできていません。相談を受けた時には管理者や経験のある職員が応じています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動報告を行い、利用者やサービス状況を報告しています。構成員の方からは貴重な地域の情報提供をして頂き、サービスの向上に活かしています。	・会議は、家族代表、町内会役員、地域ケアプラザ職員と居宅介護支援事業所ケアマネを委員に、2か月ごとに開催している。 ・会議では活動報告の後、委員間で情報交換を行っている。委員の意見で、値域の消防団による「利用者の避難訓練への指導」が実現した。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要時連絡を取り、サービス状況を伝え、相談事をする事が多いのが現状です。	・区担当窓口にて、運営推進会議の議事録を郵送し、事業所の実情や取り組み状況を伝えている。 ・区の窓口には、行政手続きを問い合わせるなど、連絡を密に取っている。職員は、区主催の虐待防止等の研修会に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束について管理者の指導の下職員は行ってはいけない行為を認識しています。そして毎日、拘束しないケアに努めています。但し、玄関の施錠に関しては本年度、入居者様失踪失踪の事故報告が生じたため、代表・管理者話し合いの下施錠することとなりました。	・職員は、身体的拘束廃止の指針を資料とした研修会に参加し、禁止の対象となる行為を周知している。 ・今年度の離脱行為を機に検討し、家族の了解を得て玄関は施錠することとした。	「身体的拘束等適正化対策検討委員会」を設置して、定期的に職員研修会に反映することが期待されます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に行き、その報告や資料を全職員に配布し、虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	資料を用い学ぶ機会を提供しています。実際、成年後見制度を活用している入居者さんもおられます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	定期的に面会に来られるご家族には行っています。来ることができないご家族には手紙で書類を送らせて頂き、何か疑問点があればご連絡いただくようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加して頂き、意見や要望を外部の方へ知っていただく機会とさせていただきます。ご家族の意見要望は常に全職員と共有し、サービス向上に努めることにより運営に反映させています。	・面会時や日常会話から得た家族や本院の意見、要望は日報に記録し、会議で検討して、サービスの改善に反映している。 ・運営推進会議で、運営報告の後、家族の意見を聞いている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は常に現場に入り、職員の意見や提案に耳を傾け運営に反映させています。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者は日常的に、職員の意見や提案を聞き取り、職員会議で検討して、業務手順の見直しなど運営に反映している。 ・初詣や雛祭り、誕生会などの行事は、月ごとの担当職員が、企画して実施している。 	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者からの報告により現状を把握し、改善に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	あまりされていないのが現状です。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	あまりされていないのが現状です。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人やご家族の要望に耳を傾け、本人が安心してサービスを受けられるように努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始からその後にかけて、ご家族の様々な要望に耳を傾け、できるだけその要望に応じるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族とよく話し合い、必要ををしている支援を見極め、必要なら他のサービス利用をさせていただいています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事・レクリエーション・季節行事を共に行ったり、楽しく会話することにより、良い関係作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に面会されたり、時折一緒に外出したいというご要望を叶えることによって、ご家族とご本人の絆を大切にしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人がいる所や場所へお連れしたり、行っていただいたりして、関係が途切れないように支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣から入居する利用者が多いため、事業所周辺の商店街での買い物や散歩の機会を設け、馴染みの人たちとの交流を支援している。 ・数人の方が、入居前から通っている地域の共同作業所と連携し、毎週作業所への通所を支援している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がどんな関係か全職員は常に見守り、理解しています。トラブルが生じた時は仲立ちをし、穏やかな関係を保てるよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要時連絡を取り、その後の様子をお聞きしたり、相談や支援に努めています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各入所者様の希望をお聞きし、介護計画に反映させています。	・介護計画見直しの機会に、本人から暮らし方の希望を確認している。 ・現在、意向把握が困難な方はいませんが、利用者のペースに合わせた会話や、選択肢を挙げて問いかけるなど工夫して、的確な意向把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴・サービス利用の経過を把握し、以後もその人らしい暮らしができるよう支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に現場での仕事に従事することにより、一人一人の現状を把握できています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族・医療関係者等と定期的に話し合いをしたり、連絡を取り合い、意見・要望・アイデアを介護計画に反映させています。	・毎月利用者の一人一人に、ケアカンファレンスを行っている。 ・原則1年ごとに、個別記録やカンファレンス結果をもとにモニタリングし、利用者や家族、医療関係者の意見を反映して、短期6か月、長期1年の目標を設定した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	詳細な記録をすることに努め、情報を共有し、ケアの仕方や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の必要に応じた支援を提供することにより柔軟なサービスを行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握に努め、その資源を有効に使い、本人が暮らしを楽しめるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望に沿った適切な医療を受けることができるよう支援しています。	・全利用者が、事業所の協力医である内科医をかかりつけ医とし、半年毎に健康診断を受けている。 ・協力医とは、利用者の往診や相談での、24時間対応体制がある。 ・週1回、訪問歯科による治療や口腔ケアが行われている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師に必要な情報提供・相談をし、適切な看護を受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医師との良い情報交換や相談を行い、本人が安心して治療を受けることができるように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時より本人・家族との話し合いの場を持ち、本人・家族の希望に沿って重度化や終末期の対応をするように努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が、常時医療機関で治療の必要がないことを利用基準とし、入居時書面で説明し同意を得ている。 ・重度化の際は、医師の判断で家族と相談し、高齢者施設や病院への入居、入院を支援している。なお、家族には、特別養護老人ホームなどへの申し込みを勧めている。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変・事故発生時の対応方法について定期的に職員会議にて話をしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回入居者・職員合同の避難訓練を行っています。運営推進会議を通し、地域へ協力体制の意識付けをしてもらえるように努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、夜間想定分を含み年2回、1回は消防署、他の1回は地域の消防団の指導を受けて、消火器やAEDの使い方を訓練している。 ・飲料水の3日分のほか、コメなどの食材を、多めに確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で依頼している避難訓練に近隣住民の参加のが実現することを期待します。 ・3日分の食材と生活用の備品類は、リスト化して管理することが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	育たれた環境などもそれぞれ違うため、毎日の経過記録などを確認しながらその方に合わせた対応をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護の研修を受けた職員が、資料を配布し会議で報告している。 ・職員間で利用者の話をするときは名前をイニシャルに変えている。 ・トイレや入浴では、利用者のプライドに配慮して、手伝い過ぎないようにしている。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自由時間は強要することなくお好きに過ごしていただいている。自己決定のできない方には普段の様子を考慮し、声かけを寄り添っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その目をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や入浴時間など一定の決まり事以外は皆様の思う通りに過ごしていただいています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	普段からその方の趣味を考慮し、ご本人様と話し合いながら支援しています。ご自分でできる方には「素敵ですね！」等の声かけをしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	3食手作りの食事提供をモットーにしており、職員も必ず同席し、同じものを食し、できる方は調理の手伝い、食事の後片付けのお手伝いをいただいています。	<ul style="list-style-type: none"> ・豚肉をソーセージに変更するなど、利用者の好みに対応している。 ・誕生会の食事には、利用者の希望を取り入れている。希望どおり寿司を食べに出たこともある。 ・秋に家族も参加して、屋上でサンマ焼きと芋煮会をおこなっている。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は職員会議等で確認し合っており、水分は時間を決めて摂取していただいています。必要時は定時以外でも職員が声かけし、摂取して頂いています。夜間は個人用ボトルを用意し必要時摂取できるようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず口腔ケアを行っています。訪問歯科医や衛生士による口腔内チェック、衛生指導も定期的に行っていただいています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	職員間での毎日の申し送りにより、各入居者様の排泄パターン、習慣を確認し合い、自立排泄が一番大切なことと考え、支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の大半は、昼は布パンツ、夜はハリハビリパンツを使用している。 ・誘導が必要な方には、2～3時間おきにそっと声をかけている。 ・一人一人に適した方法を、申し送りや会議で話し合い共有している。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便記録を行い職員間で申し送りが行われています。食物繊維が多く含まれている食材をふんだんに使った食事や、便秘がちの方には水分を多めに摂取していただくようにしています。ラジオ体操等の運動も常に行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決まっており、各入居者様の好きな曜日、時間での入浴は行っていません。それでも入浴日を覚えてくださっている入居者様はその日を楽しみにしてくださっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴は週2回を原則に利用者の状態に合わせて順番を調整している。 ・お湯は、かけ流しか、またはシャワー浴としている。 ・入浴日以外の日は、職員が一人一人の状況に応じて体を拭いている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人に合わせ、ご自分で休息を取れる方はご自分で、認識するのが難しい方には職員が適時声掛けをし、無理しないで休息できるように支援しています。常に寄り添い、安心して眠っていただけるようにも支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に職員間で各入居者様の状態をチェック、記録し、服薬の必要性や申し送りを確実にしています。誤薬等が無いように細心の注意を払うよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたむ事に意欲のある方、カラオケがお好きな方、食器片づけが得意な方等各入居者様の生活歴、力を活かした役割や気分転換を行っていただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族との外出は自由に行っていただいています。日常的には職員と近所へ散歩へ行ったり、買い物へ一緒に行っていただいたりしています。季節行事に普段なかなか行くことのできない場所へ出かけられるよう支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> 職員は、近くの公園までの散歩や買い物、屋上での外気浴に、利用者を誘っている。 初詣や花見などの全員での外出を年に数回行っている。 家族と一緒に親戚の家を訪問する利用者もいる。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お財布を持ち、お金を所持されている方もいらっしゃいます。欲しいものがある時は職員が付き添い買い物に行き、希望の物を買えるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも電話や手紙のやり取りができるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場は常に目配り、気配りをしており、担当を決め、マンネリ化しないよう工夫しています。入居者様にもレクリエーションで作品を作っただけ、それを飾って楽しんでいただけるようにもしています。	<ul style="list-style-type: none"> 共用空間の温湿度は、職員が利用者の様子を見て調整している。 テーブルの角には、怪我をしないように、クッション材を付けている。 利用者が作成したぬり絵、季節の飾り、最近の写真などを食堂の壁に掲示している。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用の場所では定期的に席替えを行い居心地の良い環境を作っています。テーブルの配置換えを行ったりと工夫もしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本、居室に置くものはご家族様に用意していただいています。ご本人が今まで使用されてきた馴染みの物を配置し、安心して過ごしていただけるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ベランダに面した大きな窓は2重窓で、内窓は障子になっていて、明るく落ち着いた雰囲気がある。 利用者はテレビを見たり編み物をしたりして過ごしている。 掃除は夜勤職員が毎日行っている。手伝う利用者もいる。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・トイレ・浴室等は分かりやすいように名前を書いたり、飾りつけを行い、洗面所には個々の手拭きタオルを分かりやすいように設置し、できるだけ自立した生活が出来る様支援しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームゆり苑

作成日 平成31年3月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束委員会がまだ設置されていない	委員会を設置し、開催する	委員会を3か月に1回以上開催し、身体拘束等の適正化のための対策を検討する	2か月
2	13	災害のための備蓄が少ない	最低3日分の全入居者様分の食料品・飲料水を備蓄する。その他必需品も備蓄する	災害担当者を中心に何がどのくらい必要かをリストアップし必要物資を購入備蓄していく	2か月
3	18	避難訓練に近隣住民の方々に参加して頂く機会があまりない	近隣住民の方々と共に苑の避難訓練を実施する	運営推進会議を通じ苑で行う避難訓練に参加していただくよう呼びかける	2か月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。